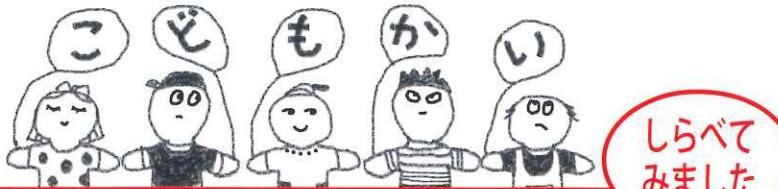




あすぴあ通信



数が減っているようです

しらべて
みました

子ども会の現状

最近、市内の子ども会の会員が少なくなり、運営が難しくなっているとの情報があり、「子ども会」とはどんなものなのか、など「子育協」の会長・戸高綾子さん、元会長・篠原泰子さんに話を聞きました。



篠原さん（左）と戸高さん

● 子ども会とは・・・

*学校PTA子ども会：

学校やPTAが母体となり組織している。

*地域子ども会：

町会、自治会などが組織している。

*有志子ども会：

個人的に熱意のある大人たちが、自発的に組織している。

などがあります。

小平市では昭和52年に子ども会の代表者の集まりである「小平町子ども会連合協議会」（子ども会連協）が生まれ、昭和57年に現在の「小平市子ども会育成者連絡協議会」（子育協）に名称が変更されました。

「子育協」は小平市から補助金を得て、無償で活動をしているボランティア団体で、子ども会と信頼関係を基本としてネットワークを作り、地域での体験や交流を通して健やかに成長することを願って、子ども会に理解ある賛同者が運営しています。

発行：小平市民活動支援センター あすぴあ

1面：子ども会の現状

2~3面：子ども会に聞く
あすぴあ登録団体&市民活動団体紹介

4面：イベント予告、本の紹介 ほか



あづま町子ども会

「子育協」に加盟している「子ども会」に子どもの人数に応じて活動補助金を交付しています。また、子ども会役員たちに向けて、交流と研修の場を提供したり、子ども会同志の情報交換、講演会、料理講習会をしたり、活動のために使う必要な備品の貸出しなどを行っています。その他、毎年「会報」「子ども会だより」「活動報告わらべうた」などを発行しています。

「子育協」は“遊びは心のビタミン剤”を合言葉に、安全には十分気を付けて、役員も楽しんで行事を進めています。

子ども会を運営していくことは大変だけれども、無理をしないでやって欲しい。大人が地域の危ないところがないかと見守り、子どもたちのふれあいの場を設けて、思い出をつくって欲しいと話していました。(A)

